



充実した1年に向け、 出会いを大切に

校長 小川 泰文

桜のつぼみがふくらみ、あたたかな春の陽がふりそそぐ季節となりました。校庭のいたるところに咲いた春の草花が新年度の子どもたちを迎えているようです。

春爛漫の4月、令和6年度、燕北小学校の教育活動がスタートしました。1年生14名を迎え、全校117名の出発です。お子さんの入学・進級おめでとうございます。

この度、ご縁をいただき、校長として着任しました小川泰文と申します。微力ながら、子どもたち、皆様方のために努力していきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

表題に出会いと書きましたが、今年度、本校が進むべき道を考えた時、真っ先に「学校にかかわるあらゆる人と良好な関係を築くことの大切さ」が思い浮かびました。

何事も人間関係の如何によって、うまくいくかどうかが決まります。これから行われる教育活動のすべてが、誰とどう関わってきたかによって結果は全く違うはず、と思います。相手の立場や思い、交わす言葉を大切に取り組んでいきたいと思います。振り返ったとき、子どもたち、皆様との出会いが、忘れられない出会い、かけがえのない出会いになるように。

一期一会という言葉を見ると、次のようにあります。

茶会に臨む際には、その機会は二度と繰り返されることのない、一生に一度の出会いであるということを得て、亭主・客ともに互いに誠意を尽くす心構えを意味する。茶会に限らず、広く「あなたとこうして出会っているこの時間は、二度と巡っては来ないたった一度きりのものです。だから、この一瞬を大切に思い、今出来る最高のおもてなしをしましょう」という含意で用いられ、さらに「これからも何度でも会うことはあるだろうが、もしかしたら二度とは会えないかもしれないという覚悟で人には接しなさい」と言う言葉。 引用：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

今年度、子どもたちにとって、「通ってよかった学校」、皆様にとって、「通わせてよかった学校」を目指し、職員一同、精一杯努めていく所存です。

一方、学校は大勢の人が集うために、様々な課題、マニュアル通りにならないこと、思った通りにならないことが多々あります。皆様方と話し合い、ともに悩み、協力しながら一步一步進んでいきたいと思っています。

1年間、よろしくお願いいたします。